

特定非営利活動法人 りんりん

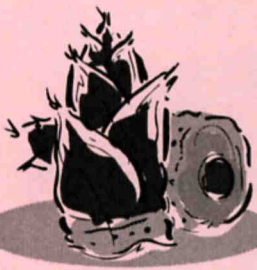


## 『求むヘルパーさん!』

暖冬で終わると思ったのに三月になって震え上がる寒波襲来でした。予想の出来ないことが起きて来るという意味で、まるで人生のよう・・・と思った春でした。

昨年4月に介護保険制度の改訂がありサービス利用者は混乱と不便を感じ、事業者は強制的な仕事と出費の増加に音を上げています。加えてヘルパー不足が事業者の大きな問題となっています。ヘルパーの労働条件は良いとは言えず、景気が上向きになったと報道される現状では、他業種を希望する人が増えてもしかたがないのかと納得せざるを得ません。

でも私はグチを言わずに希望を持ちたいと思っています。人と人が信頼し、支え合うヘルパーの仕事がどんなにか面白く、やりがいのある仕事かは、私が経験し知っているからこそ、そうした仕事を求めているひとはたくさんいると思えるのです。



りんりんのヘルパーの平均年齢は54歳ですが、60歳以上が23%です。つまり子育てを終え、体力・気力・時間のある人たちが仕事をしているということです。平均寿命が延びた今、定年後60歳から10年間は元気に働くことが出来る人たちが大半と私は考えています。登録ヘルパーという働き方は自分の体力に見合った働き方が可能です。一日3・4時間で週に2・3日働くことも出来、今までの豊かなキャリアが活かせる仕事です。いつかは誰かのお世話になる身、元気なうちは誰かの為に働いてみませんか？子育て中の若いお母さん、子育てと同時進行で働くことができ、大歓迎です。

5月19日からりんりんヘルパー講座が始まります。会報の裏面をご覧ください。詳細はお尋ね下さい。求むヘルパーさん!!

※奨学金制度もあります

(理事長 村上眞喜子)

## 穏やかな日々を 過ごしています。



久松 太郎さん(87歳)

お庭がきれいで良く手入れされています。「すずめ・カラス・鳩などの鳥がよく遊びにきていたけれど、ここ数年来ないなあ」と、木々に目をやる久松さん。

柗町には伊勢湾台風のあと引越してきたそうです。「以前は原っぱや田んぼばかりだったけど、すっかり変わってしまって、いつのまにか半田の中心地になってしまった・・・」

5年前に奥様を亡くし、今は一人暮らし。昼夜の食事は頼んで、朝は自分で作ります。「それまではやったこともなかったけれど・・・」といいながらきちんと朝食をとります。

戦争も経験しました。飛行機の部品を作るためにフィリピンにある工場へ。もともと鍛冶屋さんで手に職があったので、実際の戦場には出ずにすんだとのこと。

滋賀県に一人息子さんがお住まいです。3人のお孫さんに会えるのも大きな楽しみのひとつ。「孫がくるとお小遣いにお金が出て行く」といいながら、嬉しそう。

週に一度、りんりんの“デイサービスやなべ”に来られます。「すぐそばの矢勝川沿いで移り変わっていく季節の花を、折々に見に連れて行ってもらうのがたのしい」とおっしゃいます。デイでは、時折とび出すユーモアのある一言がその場を盛り上げます。

近所の昔からの知り合いと話したり、仕事をやってた頃の友人が立ち寄ってくれたり、テレビを見たりして過ごす穏やかな日々です。

# 生き活きサロン

私とりんりんの関わりは、りんりんが活動しだした頃に始まります。基本である“助け合いの精神”にひかれました。その頃の私は、仕事に追われ人間関係に疲れ、人生の目的は何？生きがって何？と悩んでいる時でした。

りんりんでは私自身の癒しの場がほしいと切実に願っていました。自分の体力や時間の範囲内に出来ることを楽しみながらやりたいと思い活動しましたので、ヘルパーの仕事も楽しく毎日が勉強でした。

生き活きサロンが出来て一年余り。私も月一回は参加しています。毎回楽しく過ごさせて頂いており、私の癒しの場にもなっています。

食事は一緒にとる人がいるほど食欲がわくものです。食事を義務と考えず楽しむことも大切だと思います。

(協力会員 橋口まり子)

## 花見に行きました デイサービスやなべ

2月の終わりに佐布里へ梅を見に行きました。

天候にもめぐまれ、歩いていると春を感じさせられるような一日でした。利用者の方々も温室へ入って花を見たり、佐布里池を見に行ったり、屋台でたい焼き・たこ焼きをおみやげに買ったりと短い時間でしたが、楽しそうでした。

梅の花もほぼ満開で、時折風によって梅の香りを感じたりすることも出来ました。



昼食は、NPO法人“みんなの家ほっと”でお弁当ランチをいただき、外食ということもあり食事の利用者皆さんの会話もはずんでいました。

(スタッフ中野)

### 報告いたします

日本財団様より《デイサービスやなべの浴槽設置》のための助成金をいただけることになりました。

2月14日に“やなべふれあいセンター”でケアマネジャーさんたちによる介護保険についての『出前講座』が開かれました。

この会に出席された岩滑地区の民生委員の浅井正巳さんに感想をお聞きしました。

「お年寄り、は、いづれ身にかかることだからという自覚があり、興味を持たれた方50人ほどが出席。ケアマネジャーの説明と寸劇で介護保険のことがよく分かって非常によかった。誰でも、いざという時にどこへ相談したらよいかという不安があるが、地元ではりんりんに相談すればよい、と安心できた。とてもよいタイミングでああいうことをされ、意義があった。演技が上手で、しっかり理解できた。聞いたり、読むだけでは理解しづらいが、見ることでよく分かり印象づけられたと思う。いい勉強会だった。村上さんが張り切っておられるので、困ったときにはりんりんへ足を運んだらよいと思う。」

## 19年度 りんりん新年会

今年の新年会も舞踊・歌・透視ゲーム・ビンゴなどの余興があり、日頃初顔合わせの人も、和気あいあいと食事をして楽しみました。歌部門では、県会議員の近藤良三氏が“昭和枯れすすき”を、歌は苦手といいながらも汗を流してデュエットで歌って下さり、最高の思い出になりました。近藤氏の人間性に感謝の限りです。舞踊の方も着物姿で優雅に踊り、歌手になりきり歌って踊る人も。最後はビンゴゲームでした。



りんりんの方々との交流をいっそう深める新年会になったと思います。利用者さんを元



気づけ反対に元気をもらうこともたくさんあります。利用者さんに喜んでいただけるりんりんでありたいと思っています。

(協力会員 松岡栄子)

# 上級救命講習会

2月24日(土)・3月3日(土)の2日間上級救命講習(8時間)を受講しました。

応急手当(やけど・骨折・誤飲・出血)など、すべてに迅速さが求められる通報、心肺蘇生、除細動、

高度救命処置の重要性の話を聞きました。実技では、三角巾の使い方、搬送法、心肺蘇生法(人工呼吸・胸骨圧迫)AED(電気ショック)の使い方を学びました。

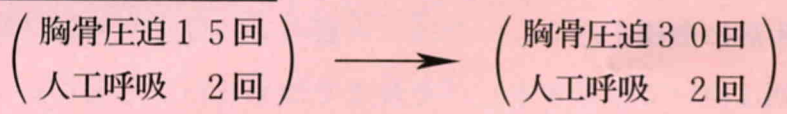


AEDは、見るのも触るのも初めてで少し緊張しました。この体験が自信につながり、必要とされる場面に遭遇した折には積極的に参加して、お役に立てることが出来たらと思いました。

りんりんのヘルパーさん達と共に、和やかな雰囲気の中、受講できましたことに感謝です。ありがとうございました。

(協力会員)

※心肺蘇生法の変更



## 会 員 親 睦 バ ス ツ ア ー



2月18日(日)りんりん賛助会員・協力会員のバスツアーへ行って来ました。朝から降っていた雨も、バスが出るころには、止んで越前へ出発!今回は、食べづくしをテーマにひたすら

食べることに専念したツアーでした。参加者43名で大勢の会員さんとゆっくり話をする機会が持ててよかったです。蟹やおそばを食べたくさんのおみやげと共に全員無事に帰って来ました。

集合時間に一人も遅れることもなくりんりんの団結力?を感じました。



ありがとうございます 皆さまの温かいご支援が  
 りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

稲葉 隆 酒井 章古 榊原志づゑ 鈴木 由江  
 中川 昌之 (敬称略)

ホームヘルパー2級養成講座

あなたも資格を取りませんか? 受講生募集中!!

- 主催** 地域福祉サポートちた
- 日程** 5月19日～9月22日の間 計18日間  
 講座(土・日)13日間  
 実習(別曜日)5日間
- 定員** 40名(定員になり次第締め切り)
- 会場** 講座 NPO法人 りんりん  
 実習 第二瑞光の里
- 受講料** 73,500円(テキスト代・実習費込み)

※資格取得後、ヘルパーとして活躍することができます。  
 ※奨学金制度がありますのでりんりんにお問い合わせ下さい。

りんりんのできごと

研修会

- 12月 援助についての説明・事例検討 …… 36名
- 1月 医療行為と感染症について  
 講師 森田貞子氏 …… 47名

	12月	1月	2月
絵手紙	33名	28名	26名
さをり織り	27名	18名	8名
生き生きサロン	81名	62名	93名
小物づくり	6名	15名	12名
タティングレース	3名	4名	4名

(延べ利用人数)

会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
111名	90名	79名	280名

(H19/2/28現在)